

PRESS RELEASE

2012年4月24日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、NGN を活用した新たな VPN ソリューションを提供開始

--フレッツ光ネクスト IPoE 接続の折り返し機能を活用した高速、低遅延な拠点間ネットワークを実現、
あわせて IPoE 接続対応のインターネット接続サービスを開始 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、東日本電信電話株式会社 (NTT 東日本)と西日本電信電話株式会社 (NTT 西日本)の、フレッツ光ネクスト (NGN)における「インターネット (IPv6 IPoE) 接続」を利用した、新たな VPN ソリューションを、2012年5月7日より提供開始します。

本ソリューションの特長は以下のとおりです。

- NGN を活用し、より高速かつ低遅延な拠点間ネットワークを低価格で実現

本ソリューションでは、フレッツ光ネクストの「インターネット (IPv6 IPoE) 接続」で、NGN 網内折り返し機能を提供する「フレッツ・v6 オプション」を活用します。拠点側の接続機器として IIJ 独自開発の高機能ルータ「SEIL (ザイル)」シリーズを利用し、NGN から割り当てられた IPv6 アドレスを利用して VPN 接続を行います。インターネットを経由せず NGN 内でダイレクトに拠点同士を接続することで、従来の IPv4 PPPoE 接続を利用したインターネット VPN に比べて、高速かつ低遅延な拠点間通信を実現します。また、フレッツ光ネクストのアクセス回線料金のみで拠点間ネットワークを構築できるため、インターネット VPN などと比較して、30%程度コストを低減することができます。

- 全拠点のルータを一元的に管理し、IPv6 アドレスの変更にも迅速に対応

各拠点に設置する SEIL シリーズは、IIJ 独自開発のネットワークマネジメント「IIJ SMF sx サービス」を利用して、初期設定から運用後の設定変更までを一元的に管理できます。特に、NGN の IPv6 IPoE 接続方式では、IPv6 アドレスが半固定で割り当てられ、変更になる可能性があります。本ソリューションでは IIJ SMF sx サービスの管理機能を活用し、アドレスが変更された場合でも、自動的に新しいアドレスを検知して速やかに VPN を再構成することができます。

- 柔軟性と拡張性に優れた拠点間ネットワークを実現

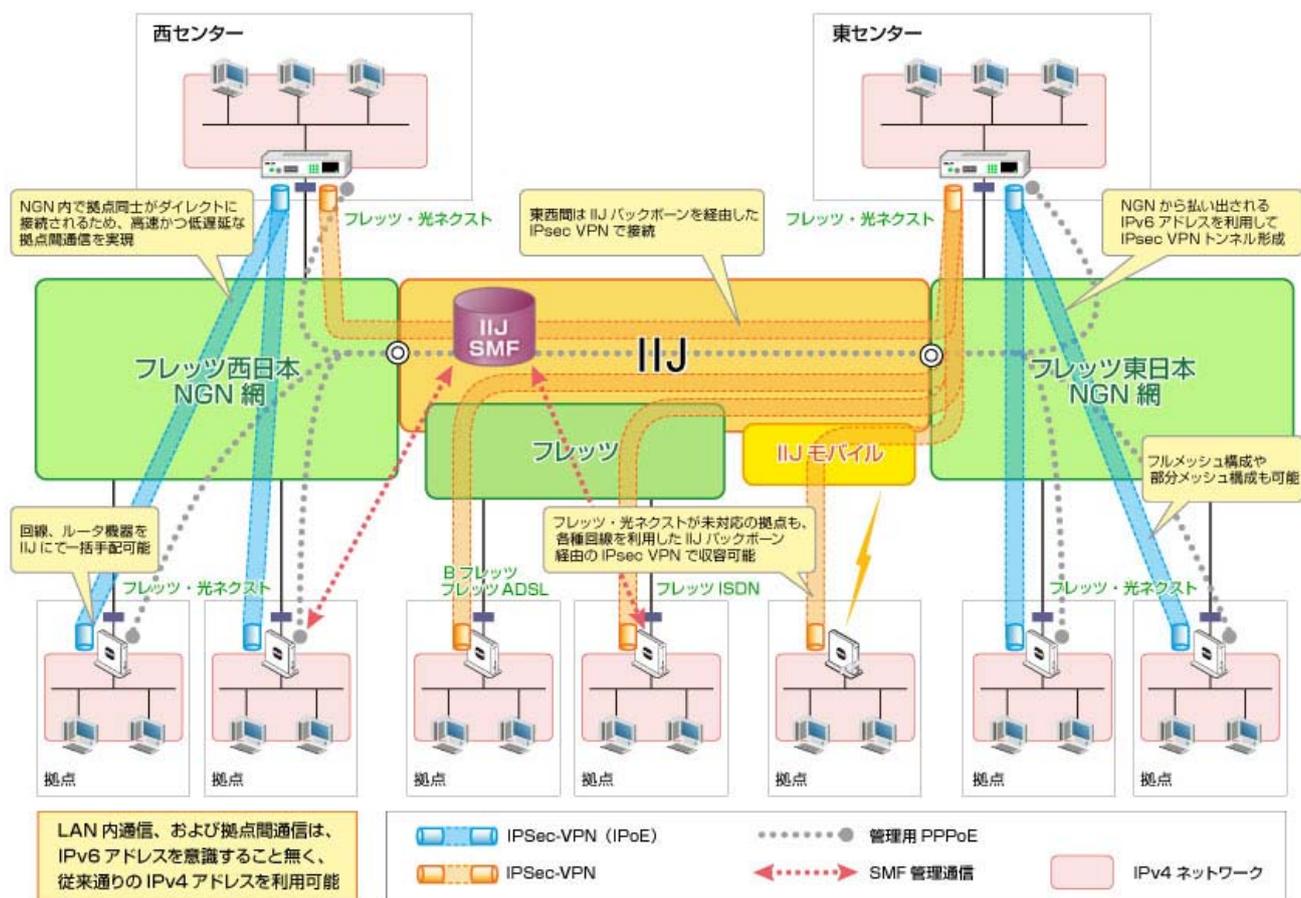
拠点が東西地域をまたぐ場合には、東西間の接続にインターネット VPN や広域イーサネットなどを選択することで、全国に拠点が点在する大規模なネットワークの構築にも対応可能です。さらに、フレッツ光ネクストの敷設が難しい拠点でも、ADSL や ISDN、IIJ モバイルなどの回線を利用して VPN に収容することができます。豊富なアクセスメニューと IIJ SMF sx サービスによるネットワークマネジメントにより、柔軟性と拡張性に優れたネットワークを実現します。

なお、本ソリューションの提供開始にあわせて、新たにインターネット接続サービス「IIJ IPv6 Fiber Access/F サービス タイプ IPoE」を提供開始します。本サービスでは、インターネットマルチフィード株式会

社が提供する「transix(トランジックス)サービス」を利用して、NTT 東西の「インターネット(IPv6 IPoE)接続」に対応した IPv6 の接続を提供します。これにより VPN のアクセス回線としてだけでなく、インターネット回線としても NTT 東西の「インターネット(IPv6 IPoE)接続」を利用されたいお客様のニーズにも対応します。

IIJ は引き続き、新サービスや新ソリューションの開発に積極的に取り組んでまいります。

■提供イメージ図



報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>